



## いのちの学習

校長 岩田 明正

まん延防止等重点措置が延長されました。命を守る上で仕方がないとはいえ、ウィルスとの戦いはいつまで続くのだろうという不安、そして、今回の延長で行事予定を変更しなくてはならない歯がゆさ、保護者、地域の方々へご負担をおかけする心苦しさを何となく気持ちが暗くなりがちです。しかし、そんな思いを見事に吹き飛ばしてくれるのが、明るい子どもたちの姿。コロナ禍の重苦しい雰囲気をものともせず元気に活動し、いつも笑顔で生活している子どもたちからたくさん力をもらっています。

さて、先日本校で「いのちの学習」が行われました。5月に4年生、今月は5年生と2回にわたり、助産師さんに来ていただいてお話をさせていただきました。子どもたちは、実際にいのちの誕生に深くかかわってくださっているプロの助産師さんたちの話に対し、時に真剣に聞き入り、時に自分たちが知っていることを活発に発言していました。

印象深かったのは4年生の授業で子どもたちが、かつては母親のおなかの中ではとても小さかったのに、今現在の大きさまで成長しているということを目で見て実感したときの驚きの表情でした。また、5年生の授業で妊婦さんの疑似体験や赤ちゃんの人形を抱き上げる体験で、おなかが想像以上に重かったり、赤ちゃんを抱きかかえたりしたときの表情でした。おっかなびっくり体験しながらも、みんな優しい表情になっていたのが心に残っています。

実はこの性教育も含めた、自己の成長についての学習は、とても大切な内容なのですが、扱い方が難しく、かなり長い間学校教育の場で議論され続けているものです。それを専門家から学習できることは本当に素晴らしいことですし、そのような機会と実施してくださる方々に恵まれたことは非常に幸運です。

子どもたちにはこの授業を通して、命は生まれてくる、ただそれだけで素晴らしいこと。親やまわりの人々に守られて、自分がここまで成長してきたことが奇跡といっても過言ではないこと。そして、自分も他人も、誰もがそうやって成長してきたかけがえのない大事な、大切にされるべき存在であることをしっかり感じてほしいと思っています。

この「いのちの学習」はとても良い内容ですので、今後、保護者の皆様対象の学習会なども催せたらいいなと野望(?)を持っています。もしいつの日か実現することができたら、ご連絡いたしますので、ぜひご参加くださいませ。

## 6月 各学年の活動の様子

### 1年生「さかせたいなわたしのはな」

生活科の学習で、花を育てています。朝の支度が終わると、「水やりに行ってきます。」と、じょうろをもって中庭へ出かけていきます。

子どもたちが大事に育てている花は、草丈が伸びたり葉の数が増えたりして、花がどんどん成長しています。

学習のときに、カードや iPad を使って絵や写真で記録を残し、前の様子と比べながら観察をしています。「葉っぱが動くよ」「弦が伸びてきた」「つぼみがあるよ」と、発見したことを嬉しそうに話しています。

花が咲くことを楽しみに、これからもお世話を続けられたらと思います。



### 2年生「だいすき みつけた」

生活科の学習では、まち探検をしました。ご協力ありがとうございました。改めて探検してみると、新しい発見がいくつもあり、「もっと知りたい!」「ここを調べたい!」と町への興味がどんどん広がっています。大切に育ててきた野菜も、とうとう実がなり、収穫できるようになってきました。収穫できる量はそれほど多くはありませんが、「おいしく食べたよ」と笑顔で話してくれました。6月からは、生き物を飼い始めました。世話を続けることで、「ダンゴムシの赤ちゃんが生まれた!」「ありが巣を作り始めたよ!」と生き物の変化にも興味津々で観察していました。



### 3年生「初めての習字」

3年生になり、毛筆を使った学習が始まりました。わくわくした様子で、用具の名前を一つひとつ確認していきました。硬筆で書くときと、毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方の違いを確かめながら、自分のペースで丁寧に書いていました。力の入れ方次第で、文字の太さかわることに気をつけて、漢字の「二」を書きあげていました。「もっと書きたい!」と意欲的な感想がたくさん挙げられて、今後の学習も楽しみです。



### 4年生 「出前水道教室」

横浜市水道局の方に来校していただき、水道の役割・水道局の仕事・浄水場のことを教えてもらいました。生活インフラを支える仕事について、いつも「当たり前」と思っていたことが、実はその裏ではたくさんの人がその当たり前を作ったり維持したりしているのだと分かりました。その工夫や努力について、考えを深めることができました。



## 5年生「命の学習」

助産師の方々を講師としてお迎えし、命の学習を行いました。赤ちゃん人形を抱っこしてお世話体験や妊婦体験を行いました。また、「生まれる」を視聴し、赤ちゃんが生まれてくるまでの周りの人々の関わりや想いについて考えました。「生まれてくることは簡単じゃないと感じた」「すごく命って大切だと思いました。」「自分や友達はきせきだと感じた。」などの感想をもっていました。



## 6年生「なかマイ活動 順調！」

舞小の6年生は、例年、なかマイ活動のリーダーとして、同じ班の6年メンバーで真剣に話し合いながら、活動内容を計画しています。今年の6年生も、リーダーとしての活動を楽しみつつ、一生けん命頑張っています。

今回の6月のなかマイ遊びも、初回の「大きな声で指示が出せなかった」「遊びの内容が低学年には少し分かりづかった」などの課題を踏まえて、計画していきました。その成果が出て、今回の遊びは前回以上に盛り上がり、班で一体となって楽しめたようです。6年生も思い通りに進行できたことで達成感や充実感を感じることができ、次への意欲も増しました。



## 個別支援級「ソーシャルスキルトレーニング」

みんなニコニコでいられるためには、どのように過ごしたらいいのかな？お友達にどのように話をすればもっと仲良くなれるのかな？日々の生活でそんな？？？は絶えません。

今回具体的にテーマをあげて4組のみんなで考えました。この日のテーマは“遊びで勝ったとき負けたとき”でした。「いいよって言う！」「次は負けてあげればいいんじゃないかな？」など一生懸命に考え、活動する姿がみられました。



### 専任より

「キーホルダーを持ってきていいの？」と子どもに尋ねられました。マイルールには、学校に必要なものを持ってこないと書いてあります。小さな物の一つひとつに対して、持ってきてもよいか悪いか決めることは不可能です。キーホルダーですが、防犯ブザーが付いている物は必要だと思いますし、家の鍵をなくさないようにとつけている物も必要だと思います。お気に入りのキーホルダー、かわいいマスコットのキーホルダーは必要でしょうか。だめと言われていないから、いいと思わずに、それは学校に必要なものなのか考えるように、子どもたちに指導していることをご承知おきください。

マイルールの中に、「家の都合で別のコースで帰るときは、連絡帳に書いて担任に知らせてください。」とありますが、これは、学校帰りに、遊びに行ったり、塾や習い事に行ったりする場合を想定されたものではありません。「遊びに行ったり、塾や習い事に行ったりするときは、一旦、家に帰ってから出かけます」というマイルールを守るようにしてください。しかしながら、こちらも様々な場合が考えられると思います。正門まで迎えにすればよい？通学路の途中ならよい？などなど疑問があるかと思いますが、子どもの安全を第一に考えて、ご家庭でご判断ください。学校としては、下校途中に遊びに行く、塾や習い事に行くことは許可しておりません。